



蓮見さん



壁に残った水の跡

想像を絶する光景

当日FM大子を聞きながら時折外の様子は見てたんです。それで昭和六十一年の台風ってかなり水が出たんですよ。で今回もそんなものだろうとたかをくくって、絶対に来ないと思ってました。ところがきてしまったときにはもう手の打ちようがないですよ。だから最初は二階へ行く階段のところの様子を見て、冷蔵庫が浮いたり、家具が倒れたりというふうな状況があって。外の子どうかたと二階の窓から見たんですが、かなり水は来てたんですが、でも夜だから良かったんじゃないかなと思うんですよ。昼間だったら全部見えて、今までにない光景なので、恐怖に耐えられなかったんじゃないかな。

実際に受けた被害

外壁のモルタルを見ていただけると、ここから色が違うでしょう。雨戸を閉じておいたんですけど、この中つて発泡ウレタンが入ってるんで、浮いて流れてしまったんです。ですからガラス越しに波が来てるのが家の中から見える状況で、いつガラスが割れるのかな、と恐怖でした。でも、幸いに割れなかったんです。土間から一四〇センチまで水が来たんです。家の中で言いますと、床面から一〇五センチから六センチまで来てます。一メートル超えると大規模半壊という判定を受

けます。

エコキュートは駄目になって全部交換しました。家の中のIHヒーターを合わせて設置料も含めて五十九万だったのかな。それは町の住宅の応急修理制度という災害への支援金で済ませたんです。

一四〇センチという結構あるんですよ。家のキッチン上と下で模様違うでしょう。私はね、高圧洗浄機で弾けばいいだろうって思ったんですが、家内は絶対嫌だということで水没部分は全部替えたんです。引き水ってすごいですよ。水が腰あたり以上きてるでしょ。引いていくときにここにあった戸棚さえもなくなった。見えるところは壁をはがして塗り直したんですが、下地にはきつとヘドロみたいに泥は溜まってると思います。

机の脇に書棚があって、何気なしにパソコンを上に乗せた。それでパソコンだけ助かったんですが、下に置いたものはみんな駄目ですね。ここにあったピアノはもちろん駄目。お風呂なんか同じですよ。お風呂は完全に泥水で埋まってましたから。でも交換していません。使えるものではきるだけそのまま使ったというふうな状況でした。この辺には、整理ダンスがあったんです。そういういたものも、倒れたりしてましたので中は泥水につかっていますから迷わず捨ててしまいました。

畳を片付けるのが一番大変でした。水吸ったら重い畳になってしまふんですね。一枚の畳を四人でやっと持って運んでいる状態で、幸いにも軽トラックがあったので、それに積んで当時の役場の脇がそういった廃棄する場所だったんですよ。初日の十三日の午後四時頃に運び込んだの。幸い私達はぎりぎり、そこに置けたんです。次の日からは廃棄場所が違うところっていう指示を受けたって聞いてますから。捨てるのも一刻を争うっていう感じですね。迷ってられないってのは変ですけど、例えばテレビなんかまで水がついたのが液晶画面でわかるんですよ。ブルーレイなんかもね。そうすると、ブルーレイはきつと大丈夫だったと思うんですけど、そのときはわからないので、もうディスクと一緒に全部廃棄しました。後で思えば、残しておけば家電品が使えなくなったと思うんですけど、その時はそういう余裕は全くなしで。

助けを得ながら

翌朝から親戚知人の手伝いがありました。災害から四日後だったかな。自民党の青年部が来て、床下地板を外して泥を取ってくれたんです。その後は常総コモンズという組織の人たちがここ南田気地区に手伝いに来てくれたんです。それで床下消毒はこんなふうになればいいですよとか、み

んな教えてくれたんです。消毒する機械まで提供してくださったんですよ。それで綺麗に全部消毒することができました。幸い私のところが大工なので来てくれたんだけど、それまでにどうにか泥の除去と消毒が終わったんですよ。修理するのも例えば大工さんだっていっぺんにはできないから順番待ちっていうのがありました。一番待ってたのはシステムキッチンの設置でしたね。

浄化槽はすぐに担当している方が連絡を取ってくださって点検に来てくれました。私は浄化槽の蓋をロックしていなくて流されてしまったんですよ。幸い橋のたもとところに流れ着いていました。

鉄橋がなくなつて

私が鉄橋がないって気づいたのは二階の雨戸開けたそのときなんです。夜が白らんできた頃、五時前だな。台風通過の翌朝は川霧が濃くて、もやっていたんですよ。それでいくから見ても鉄橋がないんです。それで外へ出てみたら向こう岸にたくさん様子を来た方がいて。だから、鉄橋なくなつてこれからどうするのかなつていうことだけ、その先までは考えられなかったんですね。でも水郡線が走らなくて一番困るのは高校生。お勤めの方は自分で車を運転できるから、代わりの手段があるけど高校生は代わりがないからきつ

と困るんじゃないかと思いました。その後の一連の工事は本当に夜遅くまでやって、家の中でテレビが聞こえないんですから。工事が終わったときはほっとしました。

タイミングが重なつて

振り返ってみて一番思ったのは、タイミングが悪かったっていうことかな。国道バイパス工事では洪水を抑止する竹やぶを全部切ってしまったのと大きな台風が重なってしまったので、被害が想定を超えて拡大しました。あとは川幅がここだけ狭いんですよ。そういう悪条件が重なったからこのような大惨事となつてしまいました。これきりにしてほしいと思いますよ。

今、困つてるのは以前よりも畑にたくさん石があるんですよ。あとは水はけ悪くなりましたね。この泥、全部は撤去できないんですね。そういう点で困っちゃうなと思います。